



北信越インターハイ

全国高校総合体育大会(インターハイ)第26日は19日、福井県立久々子湖漕艇場などで行われ、岡山勢はボート男子のダブルスカルで関西(市川準伍、高橋愛生)が頂点に立ち、シングルスカルの吉田智貴(関西)が4位に入った。サッカーは女子の作陽が準々決勝で尚志(福島)に1-0で勝利し、4強入り。男子の学芸館は準々決勝で星稜(石川)に1-2で惜敗した。

競泳の女子100メートルバタフライは山岸美(長野・飯田)が58秒82で制し、200メートルバタフライとの2冠を達成した。男子100メートルバタフライは丹保陸(埼玉栄)が53秒03で勝利、1年生の光永翔音(東京・日大豊山)が2位だった。男子200メートル背泳ぎは、竹原秀一(東海福岡)が1分58秒08で100メートル背泳ぎと合わせて2冠制覇。女子板競ひ込みは金戸瀧(東京・日黒日大)が5分51.30秒で、高飛び込みに続いて優勝した。

市川・高橋組(関西) V



ボート男子ダブルスカルで優勝した関西の市川準伍(右)と高橋愛生。福井県立久々子湖漕艇場

男子ダブルスカル スタートダッシュ決める

雨が降りしる中、大接戦となったボートの男子ダブルスカル決勝。2艇がほぼ同時にゴールした後、少しの時間を置き、関西の市川・高橋組の優勢を告げるアナウンスが響き渡る。握りこぶしを突き上げ喜びを爆発させた2人。「だめかと思っていたが、本当にうれしい。夢みたい。さすがに笑顔が広がった。」「出だしから全力で、体力が尽きたら後は気持ちいいこと思っていた」と高橋。その言葉通り前半からスピードを上げると、中間の500メートルを2位と0秒49差でトップ通過した。後半はやや失速したが、市川が互いに励ましつつ、と振り返るように気力を振り絞って踏ん張り、逃げ切った。

シングルスカル 吉田(関西)悔しい4位



ボートの男子シングルスカルだったと悔しさをにじませた。関西の吉田が春の全国高校選抜から順位を一つ上げ、4位入賞。うれしさは反省を生かし、「最初から飛ばすが、狙っていたのは優勝。ばしょくく決めていた。」

カヌー

あわら市北高特設競技場(男子) カヤックシングル(500m) ①早坂 山形 1分56秒2 ②同・カヤックス(500m) ③谷地 山形 早坂 1分46秒8 ④同・カヤックス(500m) ⑤松浦 1分46秒8 ⑥同・カヤックス(500m) ⑦松浦 1分46秒8 ⑧同・カヤックス(500m) ⑨松浦 1分46秒8

飛び込み

長野市立アライオン(女子) ①宮崎大宮(宮崎) 16分30秒 ②坂野史(岡山) 16分30秒 ③野田(岡山) 16分30秒 ④野田(岡山) 16分30秒

サッカー

福井市立三國運動公園陸上競技場(男子) ①岡山山雲 1分11秒 ②岡山山雲 1分11秒 ③岡山山雲 1分11秒

岡山勢の成績

男子100メートルバタフライ ①早坂 山形 1分56秒2 ②同・カヤックス(500m) ③谷地 山形 早坂 1分46秒8

競泳

長野市立アライオン(男子) ①松田 小 1分00秒 ②松田 小 1分00秒 ③松田 小 1分00秒

取り組んでいたが、オランダの中間地点は3位で、上位争いを展開する。だがスタートで出遅れた選抜のトをかけた後半、一躍の勢いがすこかったとスピードで上回られ、順位を一つ下げた。中学校ではバレーボールに

### 森川先生のお言葉

インターハイから帰って3日も経ってしまいました。学校を一週間以上空けていたので完全な浦島太郎になっています。インハイ疲れと忙しさで毎日毎晩グッタリ😞💧💧💧しています。もちろん今日も朝からボート・ボート・ボートです。

🎵🎵 雨を避けたロッカールームで君はすこしうつむいて  
もう戻れはしないだろうといったね  
瞳の中風を宿した悲しいほど誠実な  
君に何をいえばよかったのだろう  
かげりのない少年の季節はすぎさってく  
風はいつも強く吹いている

走る走る俺たち流れる汗もそのままに  
いつかたどり着いたら君にうちあけられるだろ🎵🎵

これは、爆風スランプの『RUNNER』。予選・準々決勝、そして最終日(準決勝・決勝)と会場へ向かう途中、この曲をバス内で聞きながら気分を High にしていました。(私一人が High になっていたかも?! 笑)

保護者・OBをはじめ関西サポーターの皆様、ありがとうございました。いろんな方々のおかげで『踊る大漕査線@福井』が完結しました。無事、犯人確保しました。心より御礼申し上げます。

最終日、シングル・ダブル共に準決勝2位で決勝進出。決勝レース前、私は選手たちに「何も言うことはない。お前らのやりたい事を思いきりやれ! 関西高校の校訓は『敢為』じゃ! 苦しいところから逃げたらあかん。自分が苦しい時は相手も苦しいんや。そこを突破せえ! 努力一瞬、後悔一生やあ! 笑ってイクでええ〜〜!」と伝えました。

レース No.88 ダブルスカル決勝 10時10分発艇。Attention Go! 関西艇は見事なロケットスタートをきめ、500をトップで通過。そのまま「イッたれえ〜〜!」と願っていました。(会場では大声を出して応援できません) が、ラスト100m 辺りで〇〇が腹切り。そこで静岡に並ばれて、その後は一漕ごとトップボール入れ替わり、2艇が同時にゴール。どちらが勝ったのか? 先にガッツポーズをしたのは静岡。ダブルの連中は頭を垂れてました。私は「負けた」と思っていました。しかし、なかなか着順の放送が流れません。おそらく写真判定となったと思われます。私は胸の御守りを握りしめながら祈るような気持ちで放送を待っていました。その時間がどれほど長く感じられたか? そして、桟橋で関西クルーを待っていたら放送が・・・。「ただ今の着順、1着2レーン・・・」この放送を聞いた瞬間、私はマスクを着けたまま「おおっ〜〜!!」と大声を挙げてガッツポーズをしてみました。(会場では大声を出してはいけないのですが・・・ゴメンナサイ!) その時、ダブルの連中は「えっ・・・?!」と思ったはず。彼らは自分たちが優勝したと解ると顔をグチャグチャにして泣きながらガッツポーズをしていました。そう、ついに久々子湖の一番早い風、高校ボートの頂点、日本一になった

のです。

インターハイ優勝は、10年ぶり6回目。(10年前、岩手インハイ、クオドで優勝だった・・・かな??) 優勝した彼らが本当にカッコよく思えました。ダブルスカルの市川・高橋、優勝おめでとう。感動をありがとう。本当にありがとう。おめえら、カッコいいぞおお～～！！

### 森川先生のこぼれない話①

インハイ出発前日(12日)のブログ「福井へ」の中に、「今のチーム状態は・・・満身創痍」と記しました。本当にそうでした。はっきり言ってインハイを棄権しようかと思ったこともありました。

### 何食ったんや!旭川の水でも飲んだんか??

大会前の極秘合宿(7・8日)で調子を上げ(9日までの予定でしたが台風接近のため、途中中止)、その勢いで福井へ乗り込もうと考えていました。が・・・、10日に事件?が起きたのです。その事件で選手たちは完全に体調を崩してしまいました。嘔吐・下痢・発熱・・・11・12日と全く練習しなかったのです。いや、出来るはずがありませんでした。そう、一気に奈落の底に落とされたようでした。あっ、決して流行り病ではありません。ご安心下さい!(笑)

そして、13日出発。移動のバス内でも体調は今一だったと思われます。今までにない静かな移動でした。で、会場に着くやいなや、体育館でエルゴ30分漕。やはり体力はかなり落ちていました。で、体力・気力を戻すため(食欲も・・・)、14・15日とエルゴを中心に午前・午後と鬼のメニューを課しました。(内容は🍌) あの練習メニューは、常日頃の学校メニューよりかなりキツかったはず。私は「レース前にこんなに追い込んでええんかあ?」と葛藤しながら、心を鬼にしてやりきりました。

迎えた16日予選。まだまだ体力は戻っていませんでしたが、何とか予選をクリア。その後も宿舍出発前・帰宿後もレース内容に満足することなく、徹底して練習に取り組んでいきました。同時に準々決勝・準決勝と徐々にレース内容もよくなっていきました。そして決勝にピークが・・・。あれこそレースの度に成長、Race Magicであったと思います。



走れ北信越の大地ととべ北信越の大会



## 森川先生のこぼれない話②

インターハイ、全国優勝すれば全国高体連より感想文が求められます。これは各種全国誌に掲載されます。まずは『旭川更生施設』優等生の高橋愛生の作文から・・・

タイトル「感謝」 関西高等学校 B 高橋 愛生

私は今春の全国選抜大会でダブルスカルの部で第3位入賞した。そこで思い知らされたのは、優勝することの難しさだった。そこから新型コロナウイルスの感染拡大で、各種大会が中止となったり、練習に制約が出るなどいろいろと大変だった。しかし、選抜大会の悔しさが、インターハイへ向けての原動力となり、「日本一」に対する執着心を強くしていた。とにかく毎日死に物狂いで漕ぎ続けた。

ところが、インターハイ出発の3日前、私は体調を崩してしまい、出発直前に全く練習することができなかったのだ。不安はつる一方で、チームの仲間・先生に対して申し訳なくて仕方なかった。迎えた予選、スタートで出遅れ、500m地点で4位だったが、後半何とか追い上げ、2位でフィニッシュ。今大会、敗復がなかったのでまさに薄氷を踏む思いだった。そこから準々決勝・準決勝とクリアして決勝まで駒を進めた。

ダブルスカル決勝、レース前に相方の市川と「俺たちならできる。後悔のないレースをしよう」と話し合った。ステッキに付け、スタートを待った。その時、私の頭に家族や仲間、先生の顔が浮かんだ。「今しかない！やるしかない！」と覚悟が決まった。レースがスタートし、プランどおりスタートダッシュに成功し、300m地点で少しだが前に出た。そこから優勝に対する気持ちだけでただひたすら漕いだ。が、900mあたりで私が腹切ってしまったのだ。そこで市川に声を掛けてもらった。「気にすんな！切り換えていこう！」そして、そのまま静岡と同時にゴール。優勝を知ったのは会場アナウンスだった。優勝を確信した瞬間、勝手に両手でガッツポーズをしていた。涙が止まらなかった。

全国優勝を果たした今、いつもそばで支えてくれる家族、熱心に指導して下さっている先生、ともに練習をしてきた仲間に恩返しができたと思った。私にとって最初で最後のインターハイ、最高の仲間に恵まれたことに感謝します。これからも感謝の気持ちを忘れず、謙虚に「考動」していきます。皆、ありがとう！！おめえら、ばんこう、しゅうえええ～～～！！《終わり》

皆さん、如何だったでしょうか？？感想等、お寄せ下さい。

あかん、明日から新学期、学校やああ～～～！今夏もボートばかりの夏でした。全然休みがなかったような？！こんな生活、いつまで続くのだろうか？？悲 わしゃ、もう年じゃあ～～！

### 森川先生のこぼれない話③

今回のインターハイ、5月の県総体でクオドルプルが負けたため、彼らを誰一人として福井へ連れて行きませんでした。よってこの福井遠征のチームキャプテンを市川隼伍が代行しました。彼も病み上がりゆえに、最初はどうなるだろうか？、しっかり他をまとめられるだろうか？と心配しておりました。が・・・、それも杞憂でした。私によく注意されながらも（叱られながらも）本当によくやってくれました。前述のとおり、現地入りしてからも、体力・気力を戻すために厳しいトレーニングを課していましたが、空いた時間に彼は他の選手たちを誘って、私の与える練習メニュー以外のことも率先してやっていました。もちろん宿舎の生活でも申し分ありません。食事の時間設定や「ゆる体操」、消灯・起床報告等ばっちりやってくれました。あっ、バスでの移動時も助手席に座り、眠たいのを我慢して？私の話し相手になってくれました。（これが一番ありがたい！）以下は、今回のインターハイ MVP、芳賀の HERO、市川隼伍の優勝感想文です。

#### 両親に捧げる金メダル

関西高等学校 S 市川 隼伍

私は、最初で最後のインターハイで優勝し、両親に金メダルを掛けてあげることができた。これはボートを始めた時からの目標であり夢だった。

今春の全国選抜では3位で悔しい気持ちだった。しかし、「こんな結果で終わってたまるか?!」と思い、苦しい練習に励んだ。身体を壊してしまったこともあったが、選抜の悔しさをバネに一緒に並べてくれた仲間や、支えてくれた家族・先生への恩返しのために、そして自分のためだと思い、果敢に立ち向かった。

ダブルスカル決勝、結果はどうであれ楽しんでいこう！と話し合った。そして、Attention Go! 500mまでトップだったが、最後の最後に大腹切りをしてしまい、2艇同時にゴールした。ゴールした瞬間は「負けた!」と思いガッツポーズができなかった。帰艇栈橋に戻ろうとすると、放送で「優勝は・・・岡山県・関西高校」とアナウンスされた。その瞬間、一気に喜びが爆発し、ガッツポーズをしながら顔がグチャグチャになるぐらい涙が止まらなかった。今までの弱い自分に打ち勝つことができたのではないかと思った。

この優勝は、いつも身の回りの世話をしてくれる両親、家庭を犠牲にしてまで支えてくれた先生、チームの皆のおかげだと思います。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。これからもチャレンジャー精神を持ち、熱き感動を求めて頑張ります。《おわり》

#### 森川先生のこぼれない話④

今夏のインターハイ、ダブルスカル優勝で関西 TEAM にとって通算 35 回の全国優勝「日本一」となりました。これも支えてくれたいろんな方々のおかげです。

全国優勝「日本一」、これはお金で買えるものではありません。消しゴムで消すこともできません。この栄冠は、選手たちにとって生涯忘れることのできない大金字塔となったはずです。

この 35 回の優勝をそばで見てきて解ったことがあります。日本一になるためには、実力だけではなれない！『運』も必要だと。オリンピック、金メダリストもそうではないでしょうか？では、その「運」は何処からやって来るのか？何処からもやっては来ません。運は自分自身が引き寄せるものだと。・・・ならばどうやって引き寄せるのか？

今回のインターハイ、8月19日、いや、その前日から選手たちの行動・言動を見てきて、優勝する匂いがプンプンしていました。選手が自ら「考動」し、私の指示を守るだけでなく、選手自ら考え、それ以上の事をしているのです。私に何も言わせないで、チームが放っておいても勝手に成長しているようでした。その延長上に「運」まで引き寄せたのではないのでしょうか？

運を引き寄せる。それは常日頃の絶え間ない地道な努力も必要ですが、人から喜ばれる行動・言動も必要と思われれます。そのためには「素直」でなければなりません。前にも記しましたが、素直になれば正直になる。正直になれば自分を明るくさせる。その明るさが周りを浄化していくのです。『暗さが魔を呼ぶ！明るさが福を呼ぶ！』

## そうなんです!勝つときは試合前から匂うんです!!

#### 森川先生のこぼれない話⑤

皆さんは、ドラマ「スクール・ウォーズ」の主人公、NHK プロジェクト X でトピックされた先生、泣き虫先生、伏見工業高校ラグビー部総監督、山口良治先生をご存知ですか？(お父さん・お母さんはたぶん・・・??) 8月20日の掲示板に山口先生の『信は力なり』と記された色紙の写メを載せています。実はあれは・・・??

実は・・・、インターハイ期間中、山口良治先生のご実家に行く機会があったのです。山口先生は元伏見工業高校の先生で、現在も京都市に在住ですが、出身は福井県美浜町なのです。ご実家はポートコースから車で3分ぐらいのところにあります。

もちろん、大会期間中、山口先生はご在宅されておりません。山口先生の友人がインターハイ運営の手伝いボランティアとして福井に来られていて、そこにステイしていたのです。

その家は、昔ながらの茅葺き屋根の大きな農家で、数本の大きな梁があり、戦後の昭和を感じさせるたたずまいでした。家の中は、筆で「信は力なり」と書かれた大きな色紙、自身の日本代表時代の写真、伏見工業ラグビー部監督時代の写真、数々の栄光のユニホーム、トロフィーやカップ、記念ボール、教え子の写真(あの平尾誠二も・・・)等がずらりと展示され、まさに山口良治記念館でした。

そして、帰り際、私はその友人の先生通じて、山口良治先生から、胸に『7』とプリントされた『山口良治ポロシャツ』をプレゼントされたのです。私は、あまりの感動と嬉しさですぐさま山口先生にお礼の電話をしました。

「おおっ～～、森川君かぁ？ 元気かぁ？ 奥さんや息子はどうや？ また岡山行くから飲もうな。〇〇寿司の大将にもよろしく伝えてくれ！」

たわいもない話でしたが、元気と勇気をもたらしたのは言うまでもありません。もちろん、今回の優勝の事は帰岡後すぐに伝えました。山口先生は自分の事のように喜んでくれました。

山口良治先生、本当にありがとうございます。 やっぱり・・・『信は力なり』です。

以上、『踊る大捜査線@福井 こぼれない話』シリーズはこれにて終了です。こぼれ話・こぼれない話、まだまだ沢山ありますが、それは飲んだ席で・・・。

**インハイ置いてきぼりにされたキャプテンをはじめとするクルーは、次は自分たちの番だとテンションを上げた。後日、先生から聞いた話です。**

#### 森川先生からのこぼれ話

今回の国体クォドクルーは近來稀に見るほどの上出来だったそう。車で例えるならハイブリッド。スーーーーーッと滑るように進むらしい。こんなクルーは2007年の三村君を乗せた艇(秋田国体優勝)と2009年の光亦君を乗せた艇(新潟国体優勝)以来だったとか。先生はインハイに続きもうひと花咲かせられると自信があったようだ。

しかし。。。

🏠

## 「三重とこわか国体」開催見合わせへ

2021年8月21日 12時33分 (8月21日 12時45分更新)

三重県内で9月25日に開幕が予定されていた「三重とこわか国体」について、県は中止する方向で日本スポーツ協会などの関係団体と調整に入る方針を固めた。関係者への取材で分かった。鈴木英敬知事が21日午後、会見する。新型コロナウイルス感染の急拡大を受け、開催は難しいと判断した。

その情報は突然やってきた。ダブルの優勝で今だけはと調子に乗って、次は国体じゃ〜!!!!と皆が日々雄たけびを上げているその時に。

新型コロナにより東京は医療崩壊していた。三重も緊急事態宣言をついに申請したのだ。宣言と共に国体は幻になってしまうのだ。そして、21日続いての情報が来る。

## 三重とこわか国体・三重とこわか大会の中止の申し入れについて

[2021年8月21日]

三重とこわか国体・三重とこわか大会については、「三重とこわか国体・三重とこわか大会新型コロナウイルス感染防止対策基本方針」の開催可否検討の基本的な考え方に基づき、その開催可否を検討し、その都度発表してきたところです。



8月17日には、8月14日時点における開催可否について、全競技を一律無観客で開催することを決定し、感染防止対策を徹底するとともに、追加の感染症対策を緊急実施することで、9月4日からの会期前実施競技については開催、9月25日から会期中実施競技については、改めて9月4日時点で開催可否を検討することを発表したところです。

しかしながら、8月14日以降のこれまでにない脅威的な感染拡大とともに、全国の感染状況も悪化し、三重県も緊急事態宣言の発令を要請することとなったことをうけ、三重県としては両大会を中止する方向で、日本スポーツ協会、日本障がい者スポーツ協会及び文部科学省に協議を申し入れることとなりましたのでお知らせします。

ああ、いよいよかあ。

そして・・・25日とうとう国体の中止が決まった。

もう一つ残念なお知らせがある。朝日レガッタで保護者が前夜祭を行う『麗門』が閉店した。

こんな幕引きを誰が想像しただろう。プシューーツと何かが抜けて

いく感じがした。

#### 森川先生のお言葉

皆様もご存知ののとおり、昨日、正式に国体中止が発表されました。私がこの情報を知ったのは、昨日部活が終わって旭川を出た直後でした。その後、次々と私のケータイに各方面から中止の知らせが……。部員たちの多くもYahooニュース等で同じタイミングで知ったはず？！

この中止の情報はインハイ期間中からチラホラと聞かされてきました。

しかし、私はずっと「どうか中止にならないでくれええ～～！」と念じておりました。 インハイから帰ってからも、21・22日と岡山県内でいろんな競技のブロック大会が実施されている事から「開催されると思って頑張ってくれ！」と部員たちを鼓舞してきました。 が、昨日、日本スポーツ協会・文部科学省・三重県から正式に中止の知らせが・・・。  
昨日、中止の知らせを受けて、安仁神社へ。 インハイ優勝の御礼参りを兼ねて、国体中止についての何がしかの助言を求めていたのも事実です。

で、今日、部員たちに私の方から中止の旨を伝えました。 本当に悲しいものでした。 頑張ってきた事を披露する場所を失うのは悲しいです。 もっと言えば、関西 TEAMは春のリベンジを果たすため、捲土重来を成し遂げるため、『最強』クルーを作って三重に乗り込む予定でした。(まあ、5月末の県総体で不覚をとったのも私たちですが・・・)  
が、苦しいのは私たちだけではありません。 他の競技団体も同様です。 さらに開催県も新型コロナウイルス感染拡大で緊急事態宣言が発出され、さらには医療が逼迫するなど大変なことになっています。 今の日本の状態は、戦争のような状態なのかもしれません。 これから起こる全てを受け入れて最善を尽くしていかなければなりません。

でも・・・、何で甲子園・パラリンピックは開催されているのだろうか？ん・・・、パラリンピックが開幕したのは一昨日、その翌日に国体の中止を発表するとは・・・変！ 何か裏があるのかもしれない！三重国体中止・・・現在の日本国内の新型コロナウイルス感染拡大を考えれば中止はしょうがない事なのかもしれませんが、なかなか割り切れません。  
春の選抜での悔しさを晴らすため、捲土重来を成し遂げるため、〇〇高校に勝つために、県総体で不覚をとりましたが、その後の国体県予選・ブロック大会と懸命に頑張った国体代表権をGETしたのに・・・。 それも久しぶりに全種目オール関西高校で挑む予定だったのに・・・。 やっぱり悔しいです！ 悲しすぎます！  
昨日練習前、部員全員に国体中止を告げた時、私は1・2年生に「お前らにとって3年生はどういう存在や？」と尋ねたところ、皆が「頼りになる先輩」・「憧れの先輩」・「ボートの事を解りやすく教えてくれる先輩」・「何でも相談にのってくれる先輩」と答えてくれました。(ホンマか?)  
そう、後輩たちにとって3年生は“カッコいい先輩”であったのです。

3年生の皆さん、いきなり高校ボートの幕は閉じました。 が・・・、HEROはいつまでも HERO なのです。 どうか後輩たちにとっていつまでも「カッコいい先輩」でいてくれる事を望んでいます。 そして、後輩たちに素晴らしい命のバトンを託してやって下さい。 もちろん次のステージに向かって頑張ってください。 目標のないところに努力はありません。

## インハイ報告会と幹部交替式

国体が中止となれば必然的に3年生は第一線から引きサポートに回る。当たり前なのだが、突然の幕引きに一瞬たじろいでしまう。コロナで祝賀会も開けないのは分かっていたが、「マンボ」で一気に済ませてしまっていた。

### 森川先生のお言葉

本日、市内某所でボート部のインハイ報告会兼幹交替式が行われました。例年ならホテルの大広間を借りきって、さらには一年生の歓迎会も兼ねて、大勢の保護者と一緒に盛大に実施するのですが、今年は(今年も)コロナ禍のため、人数を縮小して、2・3年生のみでこじんまりと行いました。(食事のみで酒類はなし。 当然やあ！)

あらためましてインターハイ優勝・入賞した選手の皆さん、おめでとうございます。そこまでの栄にたどり着くまでに数々の苦労があったはず。(ありすぎや!) 練習の苦しさ、自分の理想に届かないもどかしさ、エルゴが友達ではなく敵 or 鬼になったこと、〇〇監督の理不尽・不条理(これが一番!)、それら全てに打ち克って栄冠をつかみ獲りました。 Good job! が・・・、この栄冠は自分たちだけで成し得たのではないということを忘れないで下さい。 家族をはじめ、仲間・先輩・後援会・保護者会等、いろんな方々のおかげで今があるのです。 今回手に入れた日本一の証明、金メダルはチーム皆で勝ち得たものです。 それをたまたま貴方たちが代表して得たのです。 ならば・・・、これからは支えてくれた人たちが納得するような行動・言動、そしてプレーをしてくれる事を切に願っています。 そうでないとメダルの価値も無くなります。

また、本日、新幹部発表がありました。 この任命は私が決めたものではありません。 3年生全員が「こいつなら関西ボート部を任せられる！」と考えて人選しました。 今回、新幹部に選ばれた皆さん、関西ボート部員としての自覚と誇り、そして責任を持って行動してくれることを望みます。 私はよく「チームは主将で決まる！」と言ってます。 確かにそうです。 が、主将一人だけではどうにもなりません。 周りが主将をどれだけ支えられるか? 主将以外の選手も常に「主将のために何ができるか? 今、俺がやらねば誰がやる?」と考えて欲しいです。 そう、皆で主将を創り上げていかなければなりません。 さあ、いよいよ『TEAM アツキ』の始まりです。 Attention Go!

最後になりましたが、横田会長、大変お世話になりました。 ありがとうございます。(もう少しありますが・・・) そして石井新会長、どうかよろしくお願いします。 m(\_ \_)m

ウラウラ～  
マンボ!!!!



改めて新幹部の紹介を掲示板から貼付します。

## 2年の石井あつきです。

今日は新幹部の発表がありました。そして自分はキャプテンに任命されました。この TEAM カンゼイのキャプテンになったからには TEAM 横田・坂井を越すキャプテンになります。そして森川先生のラストチルドレンとしてこのチームを、森川先生を日本一に導けるような男になってみせます。チームはキャプテンで決まる。これは前キャプテンの横田先輩がよく言われていた言葉です。自分がこのチームのキャプテンという自覚と責任をもってチームアツキをアツイチームにしていきます。

## 2年の宮内です。

今日は幹部交代式がありました。自分はクルー長兼副キャプテンに選ばれました。選ばれたからには、全力で仕事をこなして、期待に応えられるようにしていき、今の3年生のような尊敬される先輩になれるように頑張っていきます。そして、キャプテンである、あつきをサポートし、目標である『日本1』をこの TEAM あつきで取ってみせます。その為にも日々の行動から1番の行動をしていきます。

## 2年の八重樫です。

今日は幹部交代式があり、自分は副キャプテンとして選ばれました！選ばれたからにはその仕事をやり遂げます！アツキを支えチーム全体を見て、盛り上げて、カッコイイ漢になります！

もちろん目標は「日本一」

必ずや成し遂げる敢為の精神を持ち TEAM アツキを日本一に導きます！

2年の庵谷悠太です。今日は幹部交代式がありました。自分は副キャプテンに選ばれました。選ばれたからには名前だけの副キャプテンにならずキャプテンのあつきを支え、足りない所は自分が補っていくという気持ちで頑張っていきます。そして森川先生のラストチルドレンということで最後に最高の恩返しができるようにこれから一年間頑張っていくので応援よろしくお願いします。

2年の秋山です。今日は幹部交代式にがあり、自分は主務として高橋先輩から受け継ぎました。選ばれたからには、主務という役名に恥じない行動をしていきチームと石井敦貴を下から支えて最高のチームにしていきます！

**そうか、森川先生のラストイヤーになるのか……。最後には是非とも、もうひと花咲かせてあげてください。**

**完**

## 《 あ と が き 》

今年も新型コロナのおかげで試合はあるのか?あるのか?と心配しながらの一年であった。コロナはどんどん変異していき、医療崩壊を起こし、自宅療養と言う名の「自宅放置」を都市部では引き起こした。岡山も二度目の緊急事態宣言が出て国体の中止が決まった。

選抜は幻の準優勝。リベンジを望んだがインハイは県予選で出場を逃してしまった。国体こそはと燃えていたであろうに、夢として消えてしまった。インハイ後は皆「国体はクオドで優勝だ」と、勿論私も期待していた。残念でならない。子供たちはどんなに悔しく思っただろうか。それでも、ダブルとシングルが楽しませてくれた事は救いを感じる。本当に9月にこの日記をまとめるとは思ってもいなかった。

うたかたの全ては夢よ……。大学で社会で、次のステージで頑張っって夢をかなえて欲しい。

森川先生のラストイヤーはどんな年になるのだろうか?私もラストイヤーになる。新型コロナが落ち着いて全ての試合で力が発揮できるようひたすら祈るしかない。そして、先生の引退式が盛大に行われることを切に望んでいる。

9月に学校に所用があって伺った。グラウンドは前日までの雨でグチャグチャになっていたためサッカー部は自転車置き場の前で練習をしていた。どの子も元気よく挨拶してくれた。監督の躰が良いのだろう。体育館の一階は初めてだ。立派な剣道場の床は桜の木だと言う。普通は和室の敷居にちょっと使うくらいの高級木材です。さぞかし強豪なのかと思

「強いんですか?」と聞いてみたが返って来た答えは

「弱いです。」「……………」他にもボクシング部が設置しているリングで練習していた。レスリング部はお休みだった。ボート部は朝7時から旭川で漕いだ後、プレジャーボートが出現する前に学校に戻ってトレーニングするのだそうだ。エルゴの置いてある部室は暑さで練習にならないらしい。各部の掛け声で会話もできない。西門の駐車場で先生と少しお話をさせて頂いた。

どの部も次の目標に向かって頑張っていた。私ももう一年頑張ろう!Cafe 店長さんもスマホでも観られるようにと頑張ってくれている。



久しぶりに優勝記念Tシャツが作られた。思った通り「鬼滅の刃」のパクリでした。(笑)